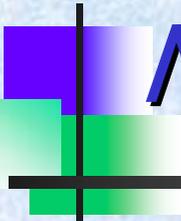




XML Consortium

ニュース・エムエル

プログラムガイド・エムエル

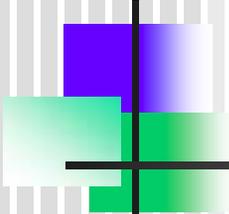


*NewsML 1.2とProgramGuideML*

応用技術部会 *NewsML-WG*

イースト株式会社 藤原 隆弘

2004/1月

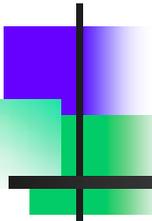


# Contents

- テレビ・ラジオ番組表の規格
  - ProgramGuideML
    - TV-Anytimeとの関係
    - リリース・スケジュール
- ニュース配信フォーマット
  - NewsML 1.2
    - IPTCの動向
      - NewsML 2.0 計画中
    - 日本新聞協会の動向
      - NSK NewsMLレベル1
- コントロールド・ボキャブラリ
  - コントロールド・ボキャブラリとは



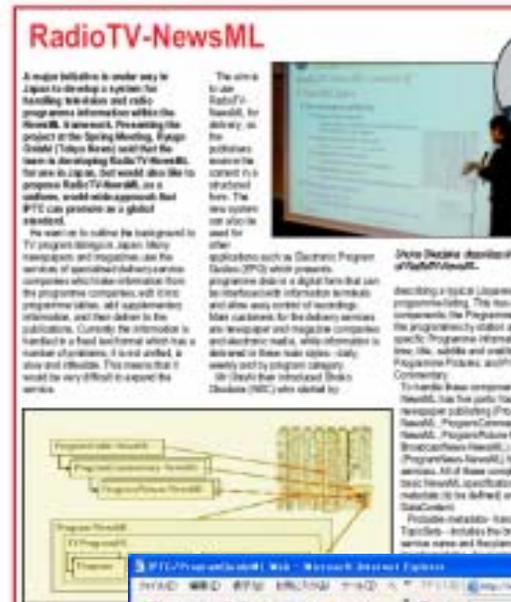
XML Consortium

A decorative graphic consisting of a vertical black line intersected by a horizontal black line. To the left of the intersection, there are two overlapping squares: a purple one on top and a green one on the bottom, both with a gradient effect.

テレビ・ラジオ番組表の規格  
*ProgramGuideML*

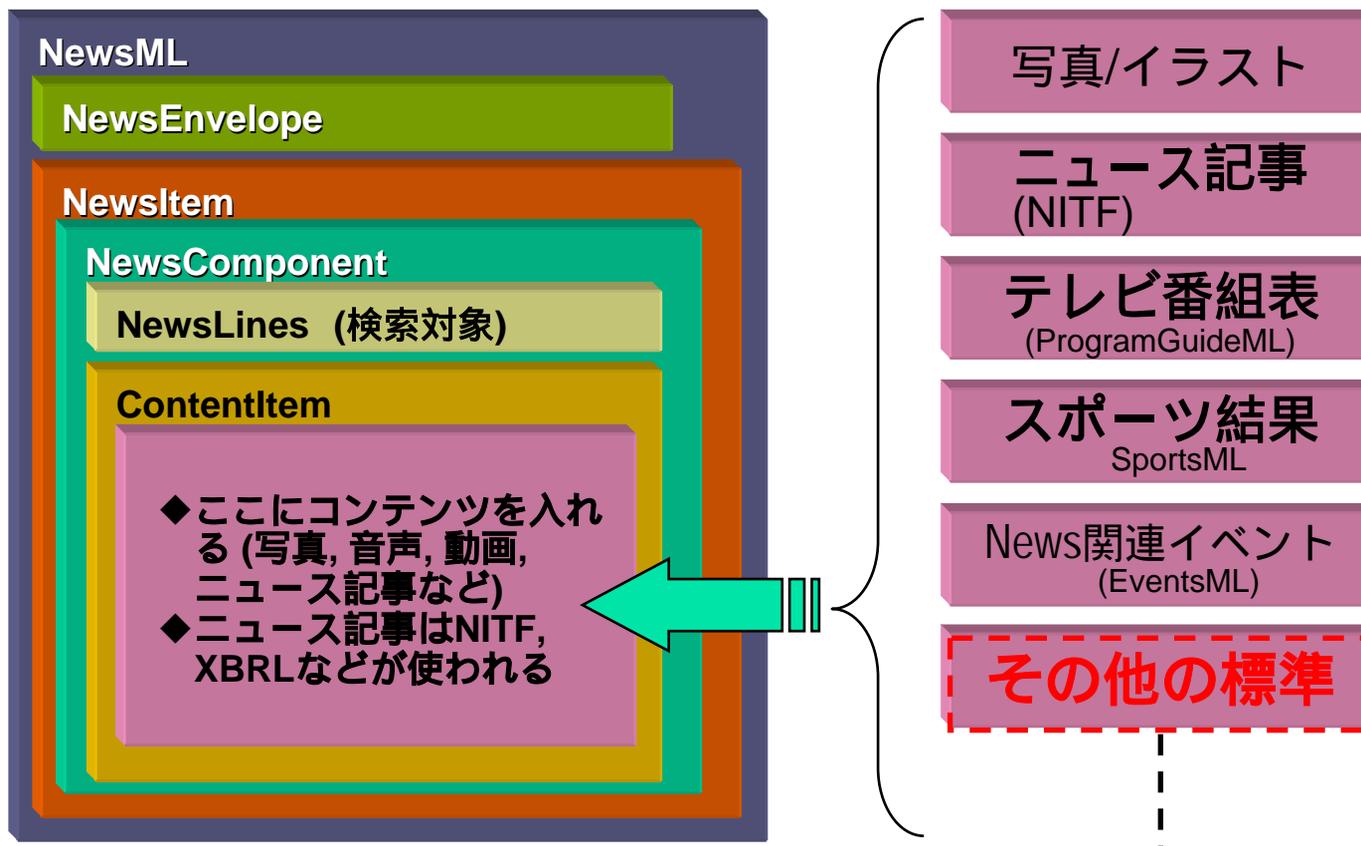
# ProgramGuideML (プログラムガイド・エムエル)

- 日本新聞協会が2002年に国際新聞電気通信評議会 (IPTC) に提案して、その標準化作業が認められた、RadioTV-NewsMLがその前身
- テレビ番組表のデータを標準化するもの
  - プリントメディア向け
  - 放送局や、個人録画装置向けには、TV-Anytimeが利用される

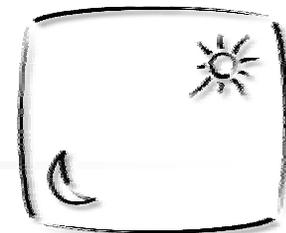


# NewsMLとの関連

- NewsMLはコンテンツをパッケージ化する役割を持ちます
- コンテンツの一つが、ProgramGuideML



# TV-Anytimeとの関係

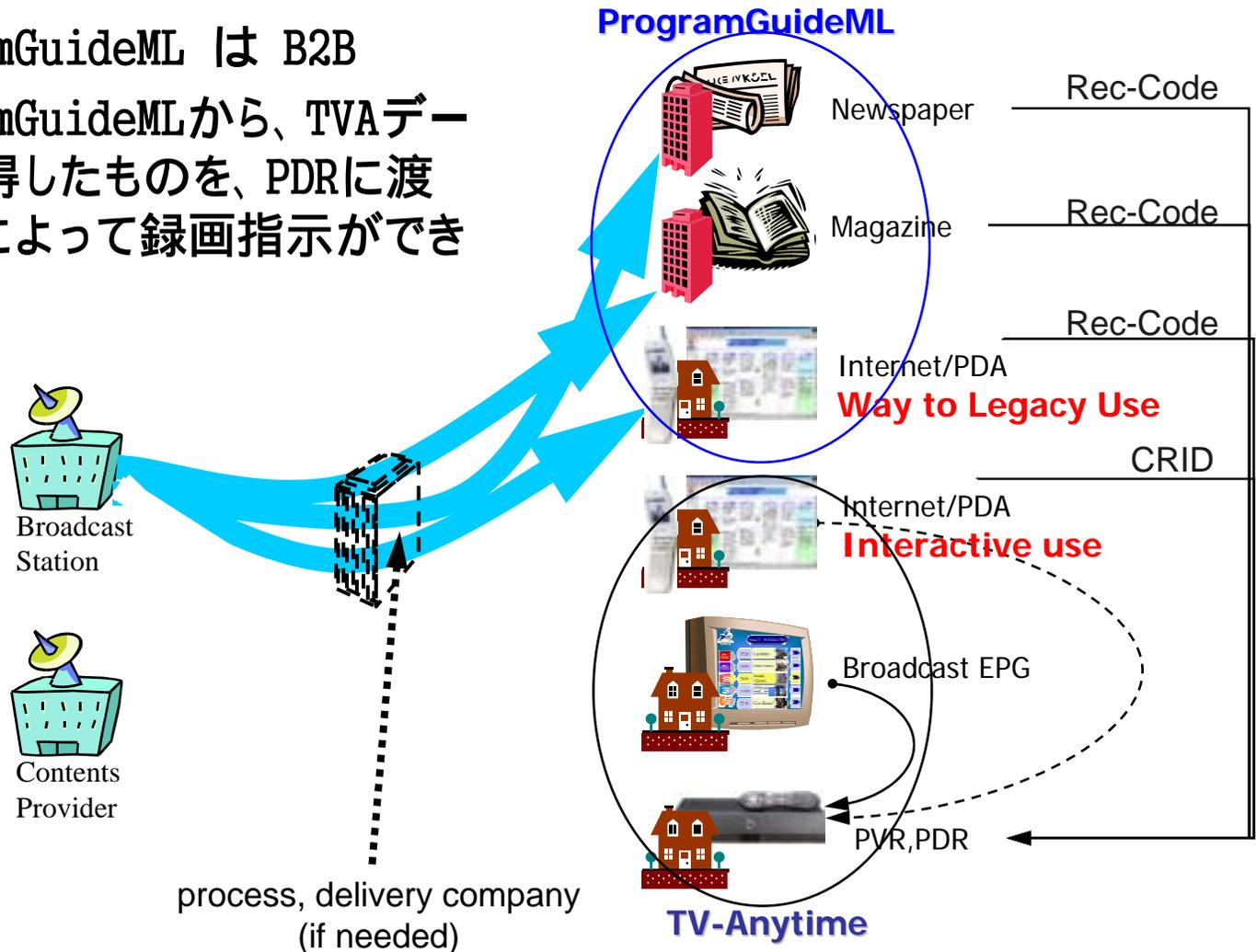


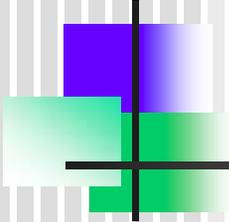
[www.tv-anytime.org](http://www.tv-anytime.org)

- TV-Anytimeとは
  - 今後のテレビ放送をターゲットにした、メタデータやコンテンツの表現を規格化
  - テレビ番組の個人用録画を便利に行うための機能に重点が置かれている
    - PVR (Personal Video Recorder)
    - PDR (Personal Digital Recorder)
  - TV-Anytime Forumが標準化を行っている
  - メタデータは2002年に仕様が決定している
- TV-Anytimeフォーラムとリエゾンを結び、ProgramGuideMLに、TV-Anytime埋め込みモードを用意することになった

# ProgramGuideMLの利用範囲

- TV-Anytime は B2C
- ProgramGuideML は B2B
- ProgramGuideMLから、TVAデータを取得したものを、PDRに渡すことによって録画指示ができる





# ProgramGuideML リリース・スケジュール

- 2004/3 アテネ
  - バージョン1.0最終ドラフト
- 2004/5 香港
  - バージョン1.0正式リリース



XML Consortium

ニュース配信フォーマット

*NewsML*

# NewsMLに関するIPTCの動向 - 1

- 2003/10 NewsML1.2リリース
  - コンテンツ作成者、貢献者の記述を強化
  - 言語をあらわすLanguage要素にISO RFC3066を使えるように仕様を変更
  - FormalNameの取り扱いを全面的に変更
    - 今までは、TopicSetがなければエラー
    - 今後、TopicSetのない、FormalNameも場所によっては許可することになった
    - 今までは en, fr, jaだけ表せたのが、次のように、細かく設定することもできるようになった

en en-GB

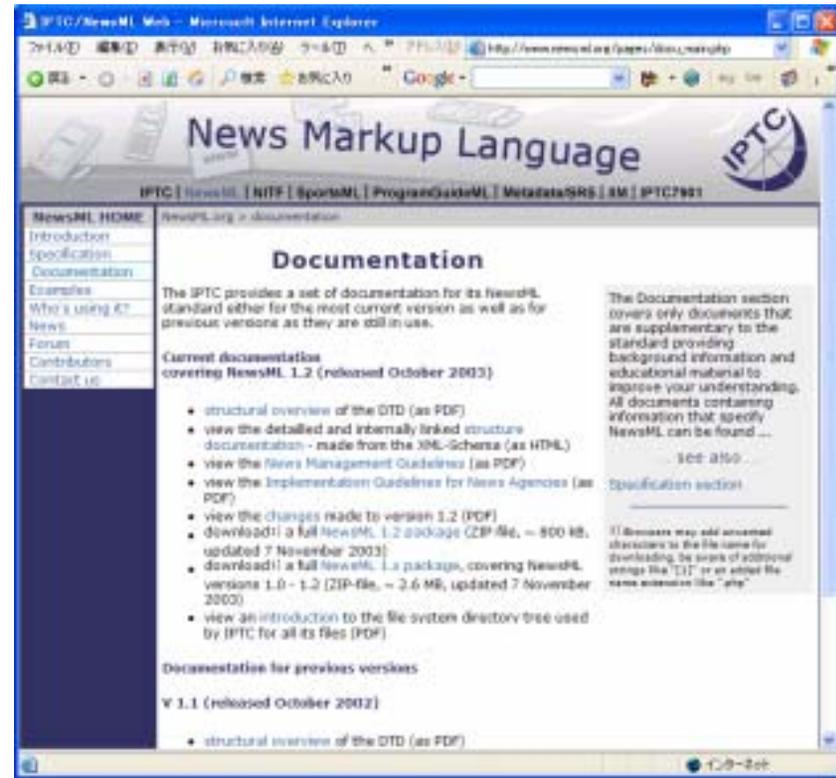
en-US

fr ja-JP



# NewsMLに関するIPTCの動向 - 2

- Webサイト全面変更
- ドキュメント類の全面更新
  - NewsML2.0への準備段階に入った
  - 新 "通信社ガイドライン"
    - 全面書き直ししているものをIPTCメンバーでレビュー中(日本新聞協会も参加)
- NewsML2.0
  - 2004末に何か出てくる可能性がある

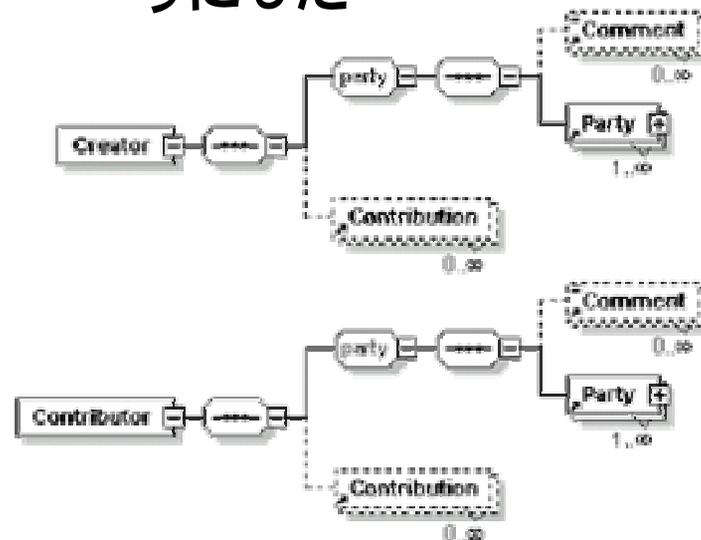


# NewsML 1.2の変更点詳細 - 1

- AdministrativeMetadata 下の変更
  - Creator要素の複数繰り返しを可能にした



- Creator要素下と Contributor要素下に、Contribution要素を追加して、関与した内容を記述できるようにした



# NewsML 1.2の変更点詳細 - 2

## ■ 例

```
<AdministrativeMetadata>
  <Creator>
    <Contribution FormalName="Photographer"/>
    <Party FormalName="Person" Vocabulary="./topicset.iptc-
topictype.xml" Scheme="IptcTopicType">
      <Property FormalName="Name" Value="Takahiro Fujiwara"/>
      <Property FormalName="email" Value="fujiwat@est.co.jp"/>
    </Party>
  </Creator>
  <Contributor>
    <Contribution FormalName="Writer"/>
    <Party FormalName="社名"/>
  </Contributor>
  :
</AdministrativeMetadata>
<DescriptiveMetadata>
  <Language FormalName="en-GB"/>
  <Language FormalName="fr"/>

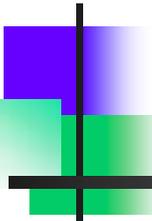
```

# 日本新聞協会の動向

- 日本新聞協会では、NewsMLレベル1を2001年8月に策定している
  - NewsML1.0をベースに不足と思われる国内の地域情報を拡張した
  - 具体的な使用方法を示した
- NewsML1.1の変更はわずか
  - 地域情報の詳細が規定された
- NewsML1.2の変更もわずか
- 国内では差し迫った状況ではないが、海外動向に遅れないように、収集した情報を整理して一般に公開する意向



XML Consortium

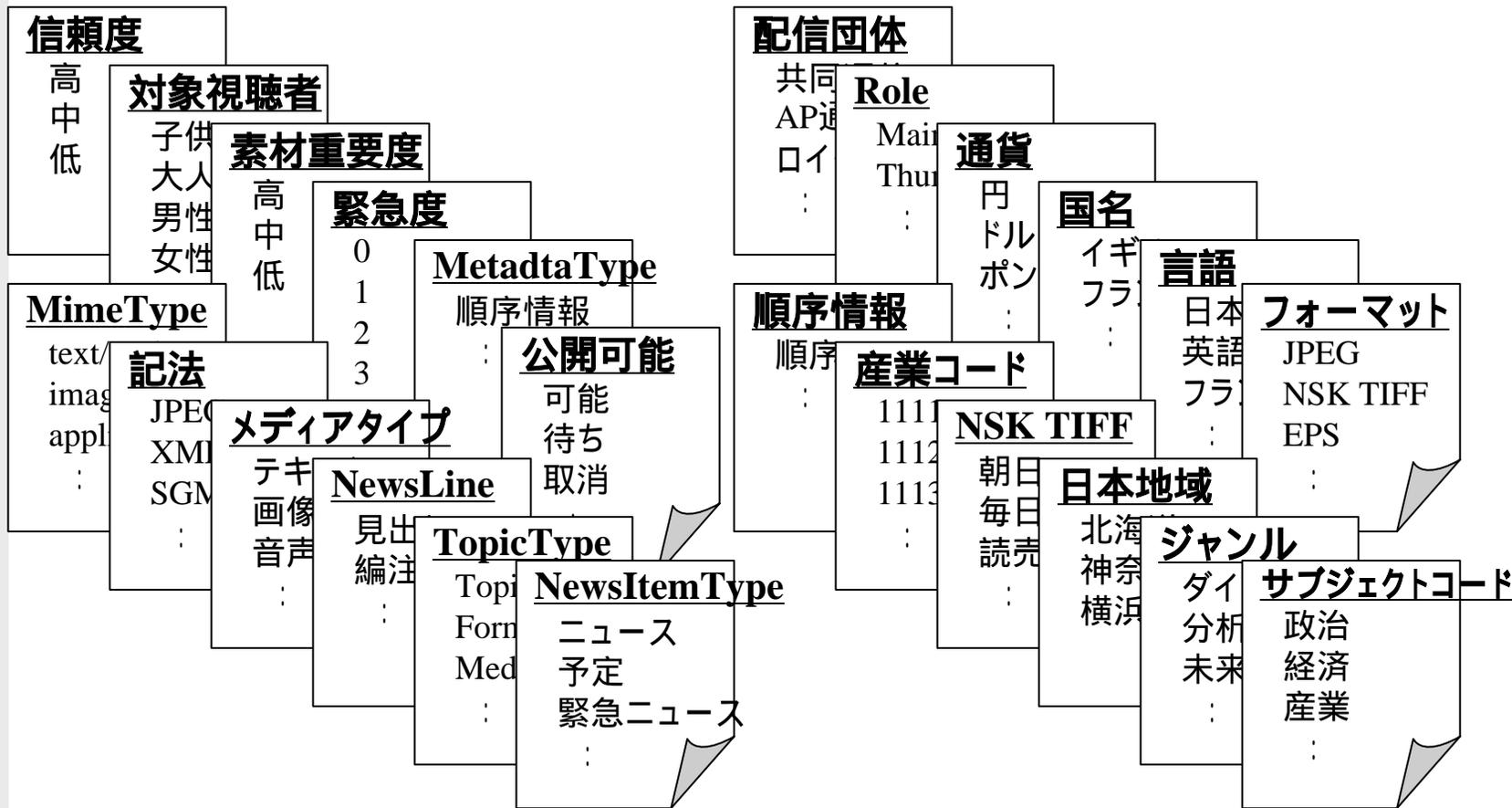
A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the origin. The top-left quadrant is a purple square, and the bottom-left quadrant is a green square, both with a gradient effect.

コントロールド・ボキャブラリ

# コントロールド・ボキャブラリとは

- 企業間で共通に使う用語を別途定義
- どのボキャブラリ定義を使うかを、使用時に宣言する
- NewsMLではTopicSetが使われている
- 他の標準
  - TopicMaps
    - TopicSetと基本概念が同じ
  - TV-AnytimeのCS (ClassificationScheme)
    - コントロールド・ボキャブラリ自体が、ツリー構造を持っている

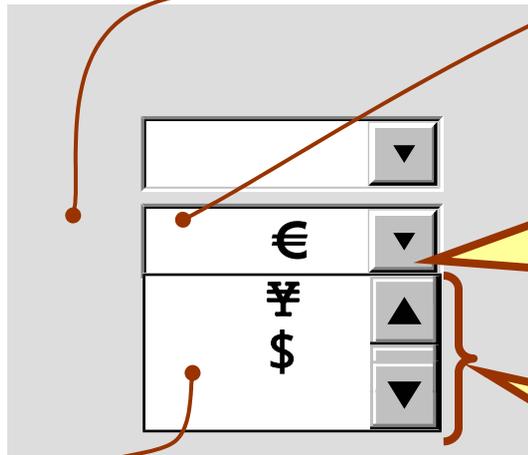
# NewsMLのTopicSetの種類



# CatalogとTopicSetによるコントロールド・ボキャブラリ

## ■ 通貨コンバータを例に説明

```
<Property FormalName="Currency" Value="EUR"/>
```



ここをクリックすると、選  
択できる通貨単位が、下に  
表示される・・・

CatalogでTopicSetを指定  
しているため 次ページ

選択できる通貨単位・・・  
リストの内容が、対象の  
TopicSetに入っている

通貨用TopicSet

EUR	€	ユーロ
JPY	¥	円
USD	\$	USドル

# CatalogとTopicSetによるコントロールド・ボキャブラリ

- CatalogでどのTopicSetを使うかを宣言

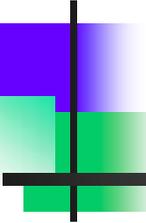
```
<Catalog>
  <Resource>
    <Url>通貨用TopicSetファイル</Url>
    <DefaultVocabularyFor Context="XPath値"/>
  </Resource>
</Catalog>
:
<Property FormalName="Currency" Value="EUR"/>
```

通貨用TopicSet

EUR	€	ユーロ
JPY	¥	円
USD	\$	USドル



XML Consortium

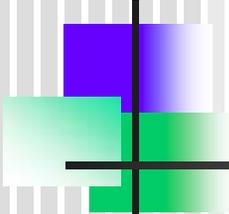


## 參考資料

---

# 関連情報の取得先

- IPTC (国際新聞電気通信評議会)
  - <http://www.iptc.org/>
  - NewsML
    - <http://www.newsml.jp/>
  - ProgramGuideML
    - <http://www.programguideml.com/>
- TV-Anytimeフォーラム
  - <http://www.tv-anytime.org/>
- TopicSetサービス
  - <http://www.topicset.com/>



# お知らせ

- NewsMLの一般向けメーリングリストができました
  - <http://www.egroups.co.jp/join/newsml-jp/>
- Format Checker for NewsML 開発途中版がダウンロードできます
  - <http://www.egroups.co.jp/files/NewsML-Checker/>